

令和8年第2回定例会一般質問

日 時 6月4日（木曜）、5日（金曜）、8日（月曜）、9日（火曜）
いずれも午前10時から
※質問、答弁を含んで概ね1人60分

内 容 発言通告書（一般質問）のとおり

発言順	議員名	質問日（予定）
1	吹春 やすたか	令和8年6月4日（木曜）
2	清 水 学	
3	小 林 正 樹	
4	鈴 木 成 夫	
5	沖 浦 あ つ し	
6	太 田 宏 徳	
7	村上ようすけ	令和8年6月5日（金曜）
8	吉 良 の り こ	
9	ながとり太郎	
10	中 井 れ い 子	
11	藤 川 賢 治	
12	遠 藤 百 合 子	
13	水 谷 た か こ	令和8年6月8日（月曜）
14	坂 井 え つ 子	
15	河 野 麻 美	
16	水 上 洋 志	
17	た ゆ 久 貴	
18	安 田 け い こ	
19	片 山 か お る	令和8年6月9日（火曜）
20	渡 辺 大 三	
21	岸 田 正 義	
22	森 戸 よ う 子	

一般質問の通告について

発言順

1

令和8年5月26日
(西暦2026年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

吹春 やすたか

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
犯罪に関し高齢者が被害者となるニュースを頻繁に目にする。	
現状の施策で小金井市は市民を守れるだろうか。	
災害に対する備えは“市民の命を守る為”の喫緊の課題である。	
所管課の尽力により“備え”は形を成して来たと判断する。	
確認を含めこれからの展開について質問する。	
1、小金井市民を犯罪から守るために施策の充実を図れているだろうか。	
(1) トクリュウ型犯罪から市民を守る為の施策は十分と言えるだろうか。	
(2) 電話を使った詐欺事件が多発しているが対抗措置はいかがか。	
2、特に自然大災害が発災した場合、十分に準備は出来ているだろうか。	
(1) 発災時の守りの要となる“消防団員”は改選期を迎えたが十分な団員確保が出来ただろうか。また退団団員への施策はいかがか。	
(2) 避難所運営含め発災時のトイレ施策はこれからどうなるのか。	
災害関連死を防ぐ為に対する対応は十分と言えるだろうかを尋ねる。	
(3) 災害に対する新しい対処具をメディアで目にする。	
小金井市ではそれらについてどのような見解を持っているのか。	

一般質問の通告について

発言順

2

令和 8年 5月 26日
(西暦 2026年)

(宛先)
小金井市議会 議長

小金井市議会 議員

清水 学

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. <u>不安から安心へ。『おせっかい』が紡ぐ地域の見守り力を再度考える</u> ～匿名・流動型犯罪(トクリュウ)対策と地域の見守り力について～</p> <p>近年、匿名・流動型犯罪グループ、いわゆる「トクリュウ」による事件が全国的に社会問題となっている。そんな中、小金井市内においても、闇バイトに応募したと供述する人物が逮捕される事案が発生した。これまで「テレビの向こう側の話」と感じていた問題が、小金井市にとっても決して遠くない犯罪となり、市民の皆さんが不安を感じている。</p> <p>私は以前から、地域の見守りや孤立防止には、「最近どう?」「大丈夫?」と自然に声を掛け合える、「おせっかい」の力が重要であると述べてきた。</p> <p>「おせっかい」こそが、トクリュウによる事件を寄せ付けない街、小金井を実現させると考える。不安から安心へ。地域の見守り力を再度考えていく。</p> <p>(1) 小金井警察署との連携、「犯罪を寄せ付けない街づくり」について</p> <ul style="list-style-type: none">① 小金井市内で発生した闇バイト関連事件を受け、小金井警察署との情報共有と連携について② 今後の連携と取組について <p>(2) 小金井市としてのトクリュウ対策と市民不安への対応について</p> <ul style="list-style-type: none">① 現在、小金井市が行っているトクリュウ対策や注意喚起について② 高齢者、一人暮らし世帯、若者等、市民不安への対応や相談体制について③ 今後、小金井市として取り組むべき対策及び検討している取組について <p>(3) 小中学校における現代型犯罪から子どもを守る取組について</p> <ul style="list-style-type: none">① 現在、小中学校が行っている、闇バイトやSNS犯罪等への対策について② 秘匿アプリ、SNS広告、「簡単に稼げる」系動画等、現代型犯罪から子どもを守るためのネットリテラシー教育や、今後の取組について <p>(4) 地域力を防犯インフラとして捉えた、地域と行政の連携について</p> <ul style="list-style-type: none">① 町会・自治会、商店会等と行政が連携した、地域の見守りや防犯の取組について② 「見て見ぬふりをしない」「最近どう?」「大丈夫?」と声を掛け合える、小金井らしい地域づくり(おせっかいへの取組)について③ 今後、地域力を活かした「犯罪を寄せ付けない街づくり」に向け、地域と行政がどのように連携していく考えかについて <p style="text-align: right;">以上</p>	

一般質問の通告について

発言順

3

令和 8年 5月 26日
(西暦 2026)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

小林 正樹

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. <u>中東情勢の緊迫化に伴うナフサショックから</u> <u>地域経済と市内事業者を守る対策について</u></p> <p>イラン情勢をはじめとする中東地域の不安定化を受け、石油化学製品の基礎原料であるナフサの供給不安や価格高騰への懸念が拡大している。ナフサ価格の変動は、幅広い分野へ影響し、既に市内中小事業者にも影響が出ている。地域経済や市民生活への影響も懸念される中、市の取組みは、</p> <p>(ア) <u>原材料・資材の供給不足や価格高騰が</u> <u>地域経済へ与える影響について。</u></p> <p>(イ) <u>市内事業者への緊急の実態・影響調査について。</u></p> <p>(ウ) <u>公共工事における課題への柔軟な対応について。</u></p> <p>(エ) <u>緊急資金繰り支援と相談窓口の強化について。</u></p>	
<p>2. <u>災害級の暑さへの対策について</u></p> <p>猛暑はもはや季節課題ではなく、市民の生命・健康・地域経済に関わる“災害級リスク”である。国や東京都の先進事例も踏まえ、本市として更なる暑さ対策強化を進めるべきと考える。</p> <p>(ア) <u>昨年の取組みと課題について。</u></p> <p>(イ) <u>給水スポット（ウォーターサーバー）の整備について。</u></p> <p>(ウ) <u>クーリングシェルター（涼み処）の更なる取組みについて。</u></p> <p>(エ) <u>全小中学校にミストシャワーと冷凍庫を設置しないか。</u></p> <p>(オ) <u>避難所ともなる体育館の冷房の非常電源について</u></p>	
<p>3. <u>(再) 小学生の朝の居場所について</u></p> <p>共働き世帯の増加に伴い、小学校入学後、子どもの登校時間と保護者の出勤時間が合わない、いわゆる「小1の壁」が課題となっている。特に朝の時間帯は、保護者の負担に加え、子どもの安全面への不安も大きい。子育て支援及び働きやすい環境整備の観点からも、市として現状をどのように認識し、どのような対応を進めていくのか伺う。</p> <p>(ア) <u>「小1の壁」に対する認識及び検討状況について。</u></p> <p>(イ) <u>朝の校庭開放の取組みと課題について。</u></p> <p>(ウ) <u>シルバー人材センターなどと連携し全校で居場所を整備しないか</u></p> <p>(エ) <u>今後の放課後子ども教室の体制について</u></p>	

一般質問の通告について

発言順

5

令和 8年 5月 26日
(西暦 2026)

(宛先)
小金井市議会議長 様

小金井市議会議員

沖浦 あつし

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. 既存公共物を有効活用し、財源確保の取組みを 下水道マンホール蓋広告の取組みをしないか</p> <p>①マンホール蓋の取扱い(更新時期、版下や作成費用) ②本市のマンホール蓋に関する過去の取組み事例とその背景や要件 ③歩道上のマンホールに着目し、マンホール蓋広告の実現可能性を探る</p> <p>2. 行政における第三者附属機関に高い専門性の反映を</p> <p>①情報公開・個人情報保護審査会、固定資産評価審査委員会、 行政不服審査会における</p> <ul style="list-style-type: none">●委員の選任方法や名簿の公開について●選ばれた委員の属性(職業)について <p>②行政書士法の改正(令和8年1月1日施行)による審査請求手続き への参画について、都内自治体の動向を示し、同手続きにおける 審理員候補や行政不服審査会委員につき本市の見解を問う。</p> <p>※自治体によりその態様は様々であるが、第三者機関としてさらなる 審査の公正性と客観性を担保するために、本市の審査会における 専門性の反映について確認していくことが今回の主旨です。</p>	

一般質問の通告について

発言順

6

令和8年5月26日
(西暦2026年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

太田 宏徳

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. トクリュウ型犯罪による特殊詐欺への対策</p> <p>近年、匿名・流動型犯罪による特殊詐欺等が全国的に多発しており、市内においても注意喚起や発生情報が連日のように発信されている。市民の安全・安心を守るため、特殊詐欺被害防止に向けた市の取組について伺う。</p> <p>(ア) 市内の犯罪件数の推移と傾向について</p> <p>(イ) アポ電が連続して確認されている事案への対応について 市内で連続して確認されているアポ電事案について、市の認識と対策を伺う。</p> <p>(ウ) 市の防犯・安全対策の取組について 特殊詐欺被害防止に向けた啓発、防犯機器導入支援、関係機関との連携等の取組について伺う。</p> <p>2. 地域コミュニティの活性化</p> <p>自治会の加入者の高齢化や新規加入者の減少が進むなか、地域コミュニティの維持・活性化が課題となっている。自治会が担う役割を改めて確認するとともに、加入促進に向けた取組や、未加入者に対する地域情報の共有の在り方について伺う。</p> <p>(ア) 自治会の役割について</p> <p>(イ) 自治会の加入率の推移と、自治会未設置地域の状況について</p> <p>(ウ) 自治会活性化に向けた行政の取組について</p> <p>(エ) 地域アプリ、地域情報ネットワークを活用した情報発信について</p> <p>(オ) 外国人住民に対する地域情報提供の工夫について</p>	

一般質問の通告について

発言順

7

令和8年5月26日
(西暦2026年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

村上 ようすけ

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. ひきこもり支援体制の進捗と今後の方向性について	
(1) ひきこもり支援ネットワーク構築の進捗状況と今後の取組みについて	
(2) ひきこもり当事者及び家族会とのコミュニケーションについて	
(3) ひきこもり当事者の居場所支援について	
2. 自転車青切符制度導入後の課題と対応について	
(1) 青切符導入後の現状について	
(2) 自転車事故削減に向けての今後のあり方について	
(3) 具体的な取組みについて	
3. 市立図書館の今後のあり方について	
(1) 市立図書館の現状と目指す方向性について	
(2) 満足度向上のために実行可能な対応策について	
(ア) 施設環境について	
(イ) 選書について	
(ウ) 貸出方法について	

一般質問の通告について

発言順	8
-----	---

令和 8年 5月 26日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

吉良 のりこ

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1, 「離婚後の共同親権制度」が施行され約2カ月が経過した現時点での状況を伺う。</p> <p>① 現状把握・市への相談内容の傾向確認</p> <p>例) 学校・保育園への手続 / 子どもの進学や医療同意/住民票・父母間の対立など</p> <p>② 庁内・自治体対応の確認</p> <p>制度施行後、現場で対応に迷うケースや、自治体連携が必要となった事例はあるか</p> <p>③ 今後への課題認識</p> <p>今後、市として課題と認識している点、また現場職員への周知・研修状況について</p> <p>2, 頼れる身寄りがいない高齢者支援体制と社会福祉協議会の基盤強化について</p> <p>① 小金井市社会福祉協議会の役割と市による支援について</p> <p>(ア) 社協が身寄りのない高齢者の受け皿として果たす重要性に対する市の認識</p> <p>(イ) 社協の持続可能な体制整備に向けた市の考え方</p> <p>(ウ) 市による社協への財政的支援・人材確保支援・制度的連携の今後の考えについて</p>	

一般質問の通告について

発言順

9

令和 8年 5月 26日
(西暦 2026年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

ながとり太郎

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. 集会施設の周知と活用</p> <p>【趣旨】小金井市の集会施設は地域の住民が集まったり、活動したり、交流したりするための場として地域コミュニティにはなくてはならないインフラであるが、集会施設の存在が多くの市民に知られているか、また多くの方に使用していただけるような仕組みになっているかを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">集会施設を設置することの意義について、条例の記載以外に小金井市としての詳細な目的はあるか。集会施設の利用状況の現状把握はどのように行っているか、また、アンケート調査を実施したことはあるか。管理人の常駐しない集会施設について、予約システムなどの導入の方向性はあるか。鍵の受け渡しなどの利用方法に関してスマートロックなどの導入も考えられるかどうか。集会施設に関して、さまざまな媒体を使用した情報発信を行うべきと考えるが、見解を伺う。	
<p>2. クラウドPBXの導入によるリスクの低減と働き方改革</p> <p>【趣旨】固定電話網についてISDN、メタル回線のサービス終了が現実味を帯びている中で小金井市の電話回線および設備は依然として従来の回線と設備を使用し続けている。今後、これらのサービスの終了、設備の保守限界を迎えることや、業務効率、リモートワーク、BCPの観点からクラウドPBXの導入を提案する。</p> <ol style="list-style-type: none">NTT東日本は今後、ISDN(INSネット)、メタル回線の終了を予定しているが、そのスケジュールを把握しているか。他市事例を検討したことはあるか。本庁舎、第2庁舎、その他施設の現在のPBXの導入時期、保守契約の期限、メーカーの保守部品の終了はいつか。半導体不足を背景に、PBXの製造・販売が縮小している。機器調達リスクなどについてどのように考えているか。PBXをクラウド化することは単なる機器調達の問題ではなく、DX政策とも関連している。DX政策と一体で設計すべき問題ではないか。クラウドPBXにした場合のセキュリティについて。LGWAN接続系に接続しなければならないのか。それとも、インターネット系に接続できるのか。業務改革、働き方改革の流れの中で、固定電話受付業務の低減、職員のテレワーク、定型問合せの自動応答化などを検討すべきではないか。	

一般質問の通告について

発言順

10

令和 8年 5月 27日
(西暦2026)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

中井れい子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. 重度障害児・者支援の拡充について</p> <p>重度障害児・者とその家族が、地域で安心して暮らし続けられる社会へ。施設整備や生活介護サービスの充実、当事者の声を反映した支援体制づくり、そして災害時にも安心して避難できる環境整備は待ったなしの課題です。</p> <p>誰も取り残さない地域づくりに向け、さらなる拡充を求める。</p> <p>(ア) 障害者支援施設整備の進捗状況について (イ) 生活介護サービス不足の昨年の取り組みについて (ウ) 専門部会やアンケート結果を踏まえた今後の取り組みは (エ) 災害時の障害児・障害者向け避難所整備に取り組まないか (オ) 障害者交通費手当の減額対象者の救済措置について</p> <p>2. 高齢者肺炎球菌ワクチンの推進に向けて</p> <p>2026年4月から定期接種に使用できるワクチンが23価肺炎球菌多糖体ワクチン(P PS V23)から20価肺炎球菌結合型ワクチン(PC V 20)へ変更されました。こうした制度変更を踏まえ、本市として高齢者の肺炎予防をどのように進めていくのかを確認するとともに、さらなる対策の可能性について伺います。</p> <p>(ア) 市における肺炎予防策と課題について (イ) 結合型肺炎球菌ワクチンの有効性や特徴について (ウ) 結合型ワクチン導入と制度設計について (エ) 定期接種を逃した高齢者への対応の必要性についての市の認識は (オ) 高齢者施設での接種を進めないか</p> <p>3. がん予防及びアピアランスケア支援の拡充について</p> <p>本市におけるがん予防及びがん検診受診率向上への取組について伺う。また、アピアランスケア支援事業として実施されている医療用ウィッグ等助成制度の現状や課題、さらに医療的脱毛症の方々への支援を含めた制度拡充に向けた本市の考え方について伺う。</p> <p>(ア) 「女性のがん検診受診応援事業」について (イ) アピアランスケア支援に対する市の認識について (ウ) 医療用ウィッグ等助成制度の内容及び利用状況について (エ) 医療的脱毛症の方々への支援を含めた制度拡充を</p>	

一般質問の通告について

発言順

11

令和 8年 5月 27日
(西暦2026)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

藤川 賢治

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. ワクチンについて</p> <p>小金井市からはワクチンを多く接種し支出している年ほど、むしろ死亡者が増えているのでは無いかというデータを出してもらった。疑い報告や救済認定についても関連を調べるべく質問する。</p> <p>ア) 健康被害救済制度に関し年度毎に各ワクチンで何件各幾ら支出したか。どの支出が次の年に継続しているのか、継続しない場合その理由(一時的なもの、寛解、死亡)も併せて</p> <p>イ) 副反応疑い報告に関し年度毎にどのワクチンで何件申請か(重症や死亡の別も含む)</p> <p>米国の報告システムVAERSで害を隠す操作がされたことを上院議員が暴き問題になっている。</p> <p>ウ) 米国のVAERS問題について把握しているか。日本でも同じ問題があるのでは無いか。</p> <p>妊婦向けのRSウイルスワクチンが2026年4月から始まった。ファイザーの論文からは28週から32週まででは有意差有りで接種群の早産が多かった。有意差無しの間もあるが「有意差無し」は安全を意味しないことが統計上の解釈である。実際、米国では早産リスクは周知されている。</p> <p>エ) 厚労省は早産をリスクとして周知しているか</p> <p>論文からRSウイルス感染症は減らすのが早産などを増やすため入院数は減らないことが示されている。それにも関わらずRSウイルスワクチンを推進し支出を増やすのかという観点から質問する。</p> <p>オ) RSウイルスワクチンの令和8年度の接種委託料・接種数見込み・総額見込み</p> <p>カ) 他のワクチンの(決算の出ている)令和6年度の各々の接種委託料、接種数、決算額、割合</p> <p>有効性・害の解析には接種歴等のデータが不可欠である。市で把握しているワクチン接種歴は、全てが電子化されていないが、電子化していきたいと過去に答弁があったので質問する。</p> <p>キ) ワクチン接種歴のデータベース化の現状について</p> <p>一方で市のデータヘルス事業ではレセプトデータが活用されており、市民個別のワクチン接種歴や死亡歴と併せて解析できないのかという観点から質問する。</p> <p>ク) レセプトデータはどういう経路で市が入手しデータとして保存され活用されているのか</p>	
<p>2. 市役所内のDX推進について</p> <p>福島県郡山市で「郡山市 STANDARD」について視察した。グループウェアを活用しメッセージ交換のルールを明確化するなど業務を効率化していた。小金井市の現状について質問する。</p> <p>ア) グループウェアに関する、アカウントの職員への配布範囲、市民からの依頼受け付け・メッセージ交換・チャット・スケジュール管理・文書管理・起案決裁・生成AIなどのツールなどについて</p>	
<p>3. 新庁舎・新福祉会館建設について</p> <p>ア) いわゆる市民案に、新庁舎・新福祉会館としての機能として足りないものはあるか</p> <p>イ) 市民案の提案が、入札の時期が令和7年にまでずれ込み、2度の不調になった原因か</p> <p>ウ) 新福祉会館の建設中止、新庁舎のみ建設する選択肢を採用する場合、再設計が必要か</p> <p>エ) 総額は利子約30億円含め約240億円か。2度の入札不調を受けコスト削減を目指す再設計をするという別プランも検討しないのか。しないのならその理由は業務に割く時間が無いためか</p>	

一般質問の通告について

発言順

12

令和8年5月28日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

遠藤百合子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1, 倒木等のリスク管理と樹木関連の指針は 国交省は倒木に関し、街路樹点検ガイドライン骨子案を示し、 日常的な異常確認と計画的点検の促進を求めている。 公園についても、樹木の計画的な安全対策と管理体制の工夫事例 を整理するなど、倒木や落枝を想定したマニュアル整備が進めら れている。</p> <p>(1) 倒木・落枝等のチェック体制の現状を問う (2) 街路樹・公園に関しての行動指針は (3) 私有地における倒木・落枝の危険性がある場合の処置は (4) 私有地の越境樹木の対応は</p> <p>2, 学校の米飯給食に分つき米を！！ 学校給食は都の予算により市の予算が8分の1になったこと により無償化されている。令和8年4月からは更に国の予算投入も されている。</p> <p>(1) 米飯給食の推進を図ってきた。さらに米飯の回数の確保を (2) 国の予算投入で、市の学校給食に係る予算が減少している ことを念頭に白米を分つき米に変えないか</p> <p>3, ご高齢の方々が使われる施設に手すり設置とシャワートイレを</p>	

一般質問の通告について

発言順

13

令和 8年5月28日
(西暦2026)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

水谷 たかこ

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1 デジタル技術やAIの活用で、市民サービスを高め、職員が本来業務に注力できる市役所へ</p> <p>【趣旨】 オンライン申し込み可能なサービスが増え、市民に喜ばれている。デジタル技術やAIの活用をさらに進め、ペーパーレス化、業務の効率化、コスト削減だけでなく、市民満足度の向上と職員の働き方改革を目指そう。また、選挙におけるタブレット投票についても、市民の意思をより確実に反映し、開票作業を省力化する観点から調査研究を進めよう。</p> <ol style="list-style-type: none">オンラインで完結する手続きを増やし、市民の利便性向上、職員の負担軽減、ペーパーレスを進めようオンライン手続きの拡大を踏まえ、窓口受付時間の見直しと、予約制による待ち時間の短縮など、市民サービス向上の試行を検討しよう会議室へのマイク・音声認識環境の整備で、市民の傍聴環境と会議録作成事務を改善しよう市民の意思を確実に反映し、選挙事務を省力化するため、タブレット投票の研究を <p>2 女性デジタル人材育成を通じ、男女共同参画・再就職支援・地域産業振興を進めよう</p> <p>【趣旨】 男女共同参画事業は、従来からの講座や広報の啓発にとどまらず、女性の所得向上や再就職支援、デジタル人材育成、多様な働き方の創出へ広げる必要がある。 東村山市は都補助金で女性デジタル人材の育成と就労支援を進めている。本市でも、商工会等と連携し、事業者のDX需要と女性の就労支援を結ぶ事業を検討すべきではないか。</p> <ol style="list-style-type: none">第7次男女共同参画行動計画にある女性の再就職・所得向上・多様な働き方支援」を具体化するために、男女共同参画事業は啓発中心から実践型へ進化させるべきではないか東村山市の女性デジタル人材育成事業を研究しているか。東京都地域人材確保総合支援事業などの補助金活用を検討できないか。現在、商工会と連携して実施している事業は何か。今後、商工会・産業振興担当と連携し、市内事業者のDXニーズと結びつけられないか。	

一般質問の通告について

発言順

14

2026年5月28日

(宛先)
小金井市議会 議長

小金井市議会 議員

坂井えつ子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1 気候危機対策はまったなし！	
(1) 公共施設等からの温室効果ガス排出量について	
小金井市環境報告書(2025年12月)によると、2024年度公共施設等からの温室効果ガス排出量は、基準年度(2019年度)比で1.3%の減少、本庁舎等の再生可能エネルギー100%電力の導入分を考慮した場合は1.9%の減少となった。要因分析と今後の対策を伺う。	
(2) 再生可能エネルギーの普及について	
市有施設における再生可能エネルギー電力の導入状況及び従来契約と比較した場合の歳出増減は。	
(3) 気候非常事態宣言を含む各種取り組みの認知度が低い件について	
小金井市は2022年1月1日に気候非常事態宣言を行なった。2026年3月環境・みどりに関する市民アンケート調査結果報告書によると、気候非常事態宣言や他の取組について「知らない」と回答したのは7割前後と認知度が低い結果となっている。宣言5周年となる2027年1月1日に、今一度あらためての周知を。	
2 目的別基金の創設について市長の考えを問う	
人口減少社会が進むなか、住民福祉の増進のため、最少の経費で最大の効果を挙げることが求められている職員は、行財政改革の視点でスクラップ・アンド・ビルド及び財源確保や経費削減に努めている。職員の尽力が、所管する施策の充実につながる仕組みは構築されているのか。	
3 多様な性のあり方を尊重しよう	
性の多様性に関する施策の取組状況は。2025年第4回定例会で、ファミリーシップ制度の検討を求めたところ、「前向きに検討したい」としていた。2026年度施政方針には「導入について検討に着手する」と記載があった。取り組みに期待をしている立場から状況を確認する。	以上

一般質問の通告について

発言順

15

令和 8年 5月 28日
(西暦 2026)

(宛先)
小金井市議会 議長

小金井市議会 議員

河野 麻美

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会 会議規則 第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1 家庭で不用となった「土」の処理方法について</p> <p>家庭で不用となった園芸用土等については、市の収集対象外であり、処理方法に悩む市民の声がある。 他自治体での回収や再資源化に取り組む事例も踏まえ、本市の現状と今後の対応について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none">・本市の現状認識、市民への周知について・他市事例を参考にした今後の取り組みについて	
<p>2 子育て世帯の利便性向上について</p> <p>妊娠・出産・子育て期は行政との接点が多く、必要な情報を円滑にアクセスできることや各種手続における利便性向上が求められる。 本市の子育て世帯を支える行政DXの取り組みについて伺う。</p> <ul style="list-style-type: none">・赤ちゃん休憩室の現状、都事業との連携について・子育て関連手続きのDX推進について	

一般質問の通告について

発言順

18

令和 8 年 5 月 28 日
(西暦2026)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

安田 けいこ

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>(1) <u>ロービジョンへの理解と周知を広めよう</u></p> <p>ロービジョンとは、全盲ではないが、見えにくさがあり、日常生活は送れているものの何らかの支障をきたしている状態のこと。一見、困難なく行動しているように見えるため、周りから理解されにくい側面がある。病気や加齢などにより、誰もがロービジョン者になる可能性があり、今後増加すると考えられる。社会的理解が進むことで、より暮らしやすいまちになるように、質問する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ロービジョンを取り巻く社会状況について<ul style="list-style-type: none">・情報を得やすい環境づくりについて（情報アクセシビリティ）・自立生活を支える支援について（外出・生活支援）・バリアフリーなまちづくりについて（点字ブロック、音響信号など）	
<p>(2) <u>平和学習を推進しよう</u></p> <p>世界各地で戦争が勃発し、日本でも軍拡化が進められる中で、悲惨な戦争の実相を伝えることが置き去りにされているのではないかと懸念されている。二度と再び子どもたちを戦地に送ることがないように、学習指導要領に明記されている平和学習の重要性を確認したい。</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもたちが平和について考える機会について（修学旅行／平和行事参加の旅など）・身近な差別や偏見をなくし、共生社会を実現するための学びについて	

一般質問の通告について

発言順

19

2026年 5月 28日

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

片山 かつる

発言通告書（一般質問）
小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. 困難な問題を抱える女性支援法の活用で、女性支援の充実を</p> <p>5/30に、女性支援法を活かす会による「これでいいの、女性支援。女性支援法の実施状況と2027年度の見直しに向けて」と題したシンポジウムが開催された。目黒区議会と府中市議会の議員調査をもとにした調査報告書を見ると、区部では新法のもと、各自治体での取り組みが始まっているが、市部では調査への回答自体が非常に少ない。区部の自治体グッドプラクティスを参考に女性支援の取り組みを進めていかないか。</p> <p>1) 26市調査と23区調査結果について。調査分析に対する見解。先進自治体の取り組みについての見解。 2) 女性支援法と女性相談支援員に対する認識は全庁的に把握されているか。支援調整会議の設置について。 3) 女性支援の課題と、小金井市としての今後の取組みについて。</p>	
<p>2. 子どもの権利としての虐待通報</p> <p>子どもへの直接的な暴力や性暴力、精神的虐待、面前DVなど、家庭内等の密室で子どもが被害を受けたときや受けそうな時に、子ども自身が速やかに相談、通報できる仕組みを把握しておくことは大変重要である。</p> <p>1) 子どもの権利として子ども自身や保護者等の大人に虐待通報の重要性をどのように伝えているか。 2) 子ども自身や周囲の大人が虐待等の被害を認識する周知はどのように行われているか。 3) 男女平等の重要性と子どもの権利の関連性について周知されているか。</p>	
<p>3. 教育基本法と主権者教育と平和教育について</p> <p>教育基本法に関する政府の見解について議論が起こっている。先の戦争の反省からも、教育基本法では政治の教育への介入を厳しく戒めているが、これまでも教育現場の萎縮が問題になっている。主権者教育と平和教育についての見解を問う。</p> <p>1) ドイツ等、諸外国の歴史教育についての把握と見解は。 2) 主権者教育をどのように進めようとしているか。</p>	

一般質問の通告について

発言順

20

令和 8 年 5 月 28 日
(西暦 2026)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

渡辺 大三

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1 緑陰を増やして、涼しいまちに</p> <ul style="list-style-type: none">① 現時点において市内で伐採予定の街路樹について② 伐採後の補植を適切に行い、総本数の維持向上を図るべき③ 武蔵小金井駅前、東小金井駅前、新小金井駅前について④ 落ち葉に関する中野区条例について	
<p>2 バス運転士確保のための施策について</p> <ul style="list-style-type: none">① バス運転士確保のための武蔵野市の施策が注目されている。本市においての今後の取り組みを問う。	
<p>3 白井市政4年間を検証する(その1)</p> <ul style="list-style-type: none">① 白井市長が最近配布している「白井とおるサポーターズマガジン」に記載されている各事項について、みんなで検証しよう。② 同マガジンには、市として公的に締結した協定の相手方の写真が掲載されているが、政治団体の機関紙に掲載する許諾は得ているのか？また、そもそも政治団体の機関紙への掲載許諾を求める行為自体が適切か？	

